

分校の窓

Vol.1



むろとまるごと BBQ に行ってきました

今回で3回目となる「むろとまるごと BBQ」に行ってきました。v (' O ') v

「むろとまるごと BBQ」ってなに？

3年前高知大学大学院の学生さんが室戸市で企業した一般社団法人「うみ路」主催のイベントで、"室戸にはおいしい一流食材がたくさん揃っている！食材を集めて、生産者の方々にも集まってもらえたら、日本で一番贅沢な BBQ ができるのでは！？生産者と消費者を繋ぎたい！"という思いから始まったイベントです。

本来の目的は生産者と事業者を結び、新たな関係作りを進めるとともに、室戸以外の土地に在住する人たちと、室戸市の人々とのつながりを広げることでした。

どんな人たちが集まるの？

室戸市：漁師、農家、酒屋、ホテルの従業員、写真館経営者、土佐備長炭製造者など多種多彩。

室戸市以外：中山間地振興会、地域の情報発信をする会社の社員、リゾート開発会社の社員、I ターン移住者、特別支援学校の進路担当の教員等。

この会の趣旨に賛同した、150名を超える人たちが参加していました。

どんなことするの？

初日は、自己紹介カードをもとに自由にグループを作り自己紹介する活動を数回繰り返し、知り合いを増やしていきます。

その後、翌日のミニツアーのプレゼンが行われて夕食。

会の名称通り室戸のうまいものが全員集合した皿鉢料理や、土佐備長炭でおいしく焼き上げられた焼肉をほおぼり、ほかの参加者と就労問題、生産者の販路拡大、製品のコラボ販売についてなど、多種多様な会話があちらこちらで行われていました。



ミニツアーって何？

室戸市内の漁業、農業、畜産業、製造業の現場を訪ねるとともに地域の文化に触れる体験型の半日ツアーです。

ちなみに私は、吉良川町で土佐備長炭を作っている「炭玄」で行われる窯だし体験ツアーに参加しました。



で、どうだった？

こうした地域のイベントへの参加は、地域のことを知るとともに田野分校のことを地域に発信できる良い機会となるとともに、生徒が卒業後地域で豊かな人生を送るうえで必要な人的資源の開拓にもなります。

実践や進路結果で教育実践をアピールするだけではなく、こうしたイベントにも積極的に参加し、分校の「顔」を地域に発信していくことも大切なことだと感じました。

出来たての炭で焼き鳥